

流行諸病

悪性ニシテ危険ノ疾也、雖然是ニ因テ百斯杜ト名クルコト能ハズ、只百斯杜質ノ病ト稱ス、此疾元來亞細亞洲ヨリ由來シ、歐羅巴洲ニ擴充シ、當今東方ニ傳染ス、其疾ヲ他ノ百斯杜質ノ疾ト、分別スル爲ニ、東國百斯杜又列反杜百斯杜ト稱ス、

〔日本紀略<sup>四</sup>上〕天德三年、今年人民頸腫、世號福來病、

〔日本紀略<sup>後十四條</sup>〕長元二年十月、自去月至今月、京中人病頸腫、世謂之福來病、

〔本朝醫談〕流行病は種々の名をおはする物なり、日本紀略、天德三年、人民頸腫、世號福來病、長元三年にも此事あり、ふくれやまひなるべし、<sup>略</sup>○下

〔松屋筆記<sup>三十七</sup>〕福來病

日本紀略天德三年の條に、今年人民頸腫、世號福來病云々、同長元二年十月の條に、自去月至今月、京中人病頸腫、世謂之福來病云々、倭漢合運長元二年の段に、京人腫、世謂福來病云々、按に、玉勝間三の卷に、頸のふくらかなるよりかくいひなせし成べしといへり、こは世にいふ腹ふくれの金持などいふやうに心得たる説にて、ひがこと也、福來はフクレの語にかり用し字にて、やがてフクレ病といふ事なり、福來病、フクレヤマヒと訓べし、

〔台記〕久壽元年四月廿九日辛亥、自去廿一日兼長病惱<sup>温氣</sup>、昨今有増、近日此病充滿京師、或稱中宮病、或稱虛子病、

〔百練抄<sup>高八</sup>〕承安元年十月廿三日、近日稱羊病、貴賤上下煩病患、羊三頭在仙洞、人傳承曆之比、有此事件、羊返却之、

〔百練抄<sup>高八</sup>〕治承三年六月廿日、近日天下上下病惱、號之錢病、

〔玉海〕元曆二年五月廿八日庚戌、自去廿三日、基輔有所勞、存風病之由浴湯、其後增氣、若近日之病、歟、<sup>世稱入海</sup>病云々、今日汗出云々、